

令和5年竹田市教育委員会第12回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年12月5日（火）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	佐藤 恵
2 番委員（教育長職務代理者）	吉野 聖子
3 番委員	岡 茂樹
4 番委員	甲高 幸一
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	野仲 芳尊
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	佐藤 俊郎
まちづくり文化財課長	古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐	羽田野京子
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第11回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
議題第50号 竹田市立図書館条例施行規則の一部改正について
 - (4) 報告事項
報告第8号 たけたんインクルーシブ学籍（竹田式副次的な学籍）制度の実施方針について
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
・令和5年度竹田市教育長・教育委員学校訪問意見交換記録について
 - (7) 連絡事項
 - (1) 12月幼・小・中行事予定表
 - (2) 12月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

- 野仲教育総務課長 委員の出席状況でございます。教育長及び委員4名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから第12回定例会を開会します。第11回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 それではタブレット④番になります教育長報告でございます。前回の定例会以降、教育長が出席しました会議・諸行事等について報告いたします。11月6日、教育委員会第11回定例会、第2回久住高原農業高校学校運営協議会、及び第23回全九州各県対抗シニアソフトテニス出場報告会。7日、第2回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議。8日、第20回B&G全国教育長会議。10日、第63回大分県小学校長会研究大会竹田大会、第2回解放文化祭実行委員会、及び直入中学校PTA意見交換会。11日、第45回直入地域ふるさと振興祭。12日、竹田市男女共同参画推進大会。13日、教育長・教育委員学校訪問。14日、第72回竹田市日本語弁論大会、及び第2回地域学校協働活動関係者研修。15日、第10回校長・所長会議、大分県養豚協会学校給食用豚肉贈呈式、全日本卓球選手権大会マスターズ出場報告会、及び全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場報告会。16日、全国史跡整備市町村協議会臨時大会、及び架け橋プログラム・南部幼稚園公開保育発表会。17日、大分県造形教育研究会竹田大会。20日、竹田中学校公開授業研究会。21日、白丹小学校PTA意見交換会。22日、定例課長会議。23日、第35回豊肥地区解放文化祭。24日、第2回部活動の在り方検討会。25日、第19回歳末助け合いチャリティーショー。26日、第77回竹田市駅伝競走大会。27日、竹田市教育支援委員会。28日、企業版ふるさと納税寄附贈呈式。29日、第2回管内教育長・課長会議、及び障がいサービス事業所利用者交流会・ボッチャ大会。12月2日、第50回竹田市少年少女駅伝ロードレース大会。そして、本日5日、教育委員会第12回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。
- はい。甲高委員。
- 甲高委員 多分また、各課からの報告でもあるかと思うんですが、11月10日の直入中学校PTA意見交換会について、どのような意見が出たかどうか、教えていただければと思います。
- 志賀教育長 教育総務課長。

野仲教育総務課長	はい。11月10日の直入中学校PTA意見交換会の件でございます。前月10月には直入小の保護者を対象に意見交換会を行っておりますが、それと同様の流れで、小中両PTAが実施しましたアンケート結果に基づいて、自由記述欄にある質問にお答えする形で会を進めております。説明の後に意見交換をいたしまして、時間的に一部の方に偏ってしまっており多くの保護者の方の意見を聞くことができませんでしたが、内容としましては、久住中・都野中が統合したあとの竹田中をまずは素晴らしい学校にして、それを私たちに示してほしいと。そして直入中の統合を白紙に戻してほしい。或いは統合検討委員会の設置自体にも反対をすると、そういったような意見が出されました。私どもは統合委員会の設置の件を申し上げました。現段階で統合決定したとしても、今年度のこの期間で統合後の体制整備ですとか、閉校事業の諸準備に十分な対応ができないということで、令和6年度の統合は事実上困難であると、そういったこともお伝えをしたところでございます。簡単であります以上であります。
志賀教育長	よろしいでしょうか。その他ございませんか。 吉野委員。
吉野委員	11月16日の架け橋プログラム・南部幼稚園公開保育発表会の内容を教えてくださいたいです。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。お伝えします。午前中9時から11時ぐらいまで南部幼稚園の保育参観をしていただきました。そしてお昼を挟んで午後から、南部幼稚園の公開保育と併せて、南部幼稚園それから南部小学校と一緒に作っている架け橋プログラムについて協議をされました。今回もたくさんのいろんな幼児教育に関わる方々とか、あと私立の幼稚園、保育所等からもたくさんの方に参加いただいて、南部幼稚園・南部小学校の取り組みを、竹田市としては今後それぞれの小学校区の小学校と幼稚園もしくは関わっている保育所等で、モデルをもとに、同じように取り組んでいけたら、もっとも子どもたちの困りが少なくなって、スムーズに小学校の学習に移っていけるなっていうようなまとめをしてくださった状況です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。その他ありませんか。 それでは次に移ります。本日の審議案件は1件です。議題第50号、竹田市立図書館条例施行規則の一部改正について、教育総務課長、説明をお願いします。
野仲教育総務課長	はい。それでは、提案理由の説明を申し上げます。この案件は、図書館において、最近、館外貸出しをした図書が破損や汚損される事例が多く発生していることから、図書館運営上、こうした行為に対応して「図書の貸出し停止」の措置がとれるようにするため、規則の第14条及び第20条に、その旨の記述を明文化するものであります。なお、施行期日は、来年1月1日からとしております。以上です。
志賀教育長	はい。質疑等ありませんか。佐藤委員。

佐藤委員	私も図書館の空間でゆっくり本を読むとかっていうのが、年に何度かしかないんですが、すごくいい施設だと思っているし、その図書館の本を大切に扱うという秩序を保っていくためにこういう条例が施行されていくと思うんですが、貸し出しをしない、弁償を求めると言った時に、図書館を訪れた人と、何かトラブルになったり、そういう時の対応っていうのも、図書館の中で行われるっていうことなんでしょうか。図書館の中で行われるか、図書館の中では手に負えなくなるようなこともあるのかなあと思うんですが、そういう時の対策ってというのはどういうふうに考えていらっしゃるのでしょうか。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	はい。特段そういった事例は、後藤館長からは伝え聞いてはおりませんけれども、最近特に、先ほど申し上げました通り、返ってくる本が大変汚れている。そういう事例が一番多いというところで、そういった館内でのトラブル、そういった事態は今まで発生していないというふうに感じているところであります。そういった方々に対して、頻繁に同じ人がするようなことのようにありますので、なかなかこういった貸し出し停止という措置をとらないと、減っていかないんじゃないかとそういったことで、今回こういった措置をするというようなことのようにあります。
志賀教育長	はい。よろしいですか。そのほか、ないでしょうか。 岡委員。
岡委員	はい。私もよく図書館を利用させていただいてまして、白状しますと一度コピーをこぼして汚した本を新書で返したという経緯がございます。それで昨日、大分合同新聞の方に竹田図書館の収蔵率が 101%という記事が出てたんですけど、こういった部分残った本っていうか、その後の処置っていいいますか、こういった場所にどういうふうに保管をしていくのかとか、その辺のことを少し教えていただけるとありがたいです。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	収蔵庫に関しましては旧竹田市の図書館に保管する部分もございましょうし、のちのち廃棄となれば、あおぞらマーケットじゃないですけどそういった形で無償で配布したりとか、最終的にはそういった方法になろうかと思いますが、現状収蔵できない部分については旧竹田市立図書館で保管をしているという状況にあらうかと思えます。
志賀教育長	はい。よろしいですか。そのほかないでしょうか。 ないようでしたら、議題第 50 号、承認してよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。報告事項に移ります。報告第 8 号、たけたんインクルーシブ学籍(竹田式副次的な学籍)制度の実施方針について、学校教育課長、説明お願

いします。

渡邊学校教育課長

はい。では⑥の資料をご覧ください。この制度は、竹田市に居住し、特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住する地域の学校に席（ここで言う席は机やいすのことです）を置くことや、居住地校における交流及び共同学習を充実させる取り組みのことを指します。この制度を通して、居住する地域との結びつきを強めたり、居住地校との交流授業を、継続的に推進したりするうえでも有意義だと考えています。交流授業を通して、それぞれに、いろんな力をもつ全ての子どもたちが、障がいのあるなしにかかわらず、互いの良さを認め合い、互いに支え合いながら学ぶことで、共生社会の実現をめざすことを目的としています。さらに、学校卒業後も地域や仲間との、あたたかなつながりを持ち続けて暮らせる環境づくりをめざします。

障がいのある児童生徒にとっては、机やいすを「たけたん学籍校」、つまり居住地校に、常時、置いておくことによって、居住地校への所属意識を高める効果があると考えています。また、交流授業を通して、同級生との関係を構築し、自立と社会参加に向けて、地域とのつながりの維持・継続・深化を図るとともに、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服することをめざします。障がいのない児童生徒にとっては、交流する同級生の机やいすが常に教室にあることによって、関心を高め、尊重し、支え合いながら生きていく共生社会の形成者としての資質を高め、心のバリアフリーを育むことをめざします。教職員や保護者にとっては、自校の児童生徒だけでなく、障がいに対する理解や相互理解を深めることにつながり、共生社会の実現をめざします。支援学校に通っている子どもも竹田市立の学校に通っている子どもも、竹田市の子供もです。これまでは、支援学校が居住地校にお願いする、といった形で進められてきた交流活動を、市教委が中心となって、両校を繋ぎ、対象児童生徒とその保護者のニーズを把握し、取り組みをコーディネートします。

具体的には、まず、これまで行ってきた居住地交流のさらなる推進を行います。二つめに、居住地校の教室に机やいすを常時配置します。三つめは、間接交流として、学校だよりや学年だより、お互いの作品の交換・展示等を行なっていきます。また、休日に行われる運動会や文化祭等の学校行事への参加希望があり、保護者引率がかなわない場合、放課後デイサービスの保育士さん等の同行にかかる費用も予算措置します。この他にも、社会教育活動や部活動、地域クラブスポーツへの参加も進めていきたいと考えています。これらの活動においては、他団体との協議をこれから行いますので、今後の展望といった段階です。昨年度3月、そして今年の5月・8月と3回ほど、県の特別支援教育支援課と協議を重ねました。8月と10月、さらに先日、竹田支援学校とも協議を行ないました。年明けの2月から、対象児童生徒とその保護者対象に、この制度の説明および希望の確認を行ってまいります。

これまでの交流授業に加え、お互いの学校の運動会や文化祭、地域行事への両校の児童生徒の参加者が増え、日ごろから関わり合う姿が見られるようになる事、そして、学校を卒業して地域の大人として、一緒に自分の住む地域づくりをしていく姿、そんな姿が、この「たけたんインクルーシブ学籍制度」のめざすところす。以上です。

志賀教育長

質疑等ありませんか。
岡委員。

岡委員	まず確認なんですけど、今のところ複学籍でやってらっしゃるお子さんはいないということなんですか。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。竹冠の「籍」を置くとなると、県立と市町村学校ということ、それぞれの教育課程があるということで、竹冠の方の「籍」というのは、明文化とか書類に載せる「籍」という形には、このたけたんインクルーシブ学籍では行いません。今のところ、交流活動や居住地交流を行っている生徒さんはいらっしゃいます。
岡委員	ちなみに居住地交流をされている子は、支障がなければどういった校区に何名ぐらい居られますか。
渡邊学校教育課長	はい。今年度は都野小学校、それから竹田小学校の方は支援学校の生徒の調子がちょっとまだ良くないということで、予定はされていたのですが、できてません。あと、これからは緑ヶ丘中学校と竹田中学校とかが対象になってくるかなというふうに思います。
岡委員	はい、ありがとうございます。やはり、実は別々の環境で育った者同士がお互いの立場を理解するっていうのは、本来なかなか非常に難しいことだと思うんですけど、できる限り交流や共同学習の機会が増えるといいなとつくづく思っております。以上です。
志賀教育長	ありがとうございました。その他、ないでしょうか。 吉野委員。
吉野委員	質問ですけど、この方針を書かれたこういう文章は、他のどういうところに明文化されることになりますか。規則というか。
渡邊学校教育課長	規則とか条例とかではないので、そういった法的拘束力とかいったものには該当しません。竹田市教育委員会、学校教育課の取り組みの一つというところとらえてお願いいたします。
吉野委員	はい。わかりました。最初に、竹冠の「籍」のことと、座席の「席」のことの説明を口頭でお聞きしたのでよくわかりました。これが当然のように、当たり前のように、溢れる環境になってくれたらいいなというふうに思いました。
志賀教育長	はい。複学籍というのは法的には認められません。ですからここで言うたけたん式というのは、ともに学んだり、インクルーシブに交流したり、そして先ほど学校教育課長が言いましたけれども、大人になっても、例えば竹田南部中学校の出身者と支援学校の出身者は、成人式で別々の席ということではなくて一緒に祝うことが可能になるような、環境を整えていこうということです。よろしくをお願いします。その他、ないでしょうか。 では報告第8号を承認してよろしいでしょうか。

委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に協議事項に移ります。協議事項について、学校教育課長、説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	⑦の第12回協議事項の資料です。学校訪問、ありがとうございました。教育委員の皆様のご質問やご指摘は、指導主事や私が各学校に対して感じていることや指導していることと共通するものも多く、各学校が改めて課題を意識する機会となったものと感じております。また、児童生徒はもちろん、教職員の指導や支援、取り組みについて、お褒めいただいたことは、教職員のモチベーションアップにもつながっていることと思います。今回、改めて確認できた各学校の課題については、今後も学校への個別訪問や授業観察を通して、その進捗を確認してまいります。教育委員の皆様も、学校へ出向いた際、また教職員とお話される際に、ぜひ話題にさせていただきますとともに、ご指導いただければと思います。よろしく願いいたします。
志賀教育長	はい。各学校の意見交換記録、まとめられています。質疑等はありませんか。それでは後でまた改めてお読みになってください。次に連絡事項をお願いします。教育総務課長。
野仲教育総務課長	それでは⑧になります。連絡事項(1)、12月の幼稚園・小・中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。既に終わっている行事もごございますが、12月1日、菅生小・城原小・久住小の校内持久走大会、竹田中のドローンプログラミング授業、及び竹田南部中の避難訓練。2日、第50回竹田市少年少女駅伝ロードレース大会、及び緑ヶ丘中・直入中の修学旅行。3日、竹田南部中の校内強歩大会。5日、荻小4年生の荻柏原井路出前授業、白丹小の校内持久走大会、及び都野小の避難訓練。7日、竹田小6年生の「たばこについて考えてみよう」教室、久住小の避難訓練、及び緑ヶ丘中の県立美術館ワークショップ来校。8日、竹田小の宇宙アサガオ種子をつなぐリレー式、南部小6年生の「たばこについて考えてみよう」教室、及び祖峰小の校内持久走大会。9日、竹田中・緑ヶ丘中・直入中の校内強歩大会。13日、城原小でのアウトリーチ公演、及び竹田南部中での久住高原農業高校出前授業。14日、久住小でのアウトリーチ公演。15日、白丹小の餅つき大会、及び久住小の認知症キッズサポーター養成講座。16日、菅生小の子ども学芸員体験発表会。17日、祖峰小のふれあい餅つき大会。18日、直入中の避難訓練。19日、荻小のお出かけクラシックコンサート、及び直入小の避難訓練。21日、豊岡小のクリスマスコンサート、荻小の荻げんきこども園マラソン大会交流、及び竹田中の避難訓練。22日、小中学校の終業式。 続いて、次のページ、3ページをご覧ください。12月の教育委員会関係日程(予定)表でございます。本日、12月5日、教育委員会第12回定例会。6日から8日まで、議会本会議の一般質問。12日、議会本会議、及び予算特別委員会。14日、第11回校長・所長会議、及び竹田特別支援教育振興協議会振興大会。15日、「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会、及び議会社会文教常任委員会。16日、ふるさとの古墳文化・埋文講演会、及び自學舎「たけたん自習室」。17日、第38回大分県クラブ対抗駅伝競走大会。18日、九州地区小学生クロスカントリー大会打合せ。19日、よしみ忌。20日、議会本会議、サフラン終業式、及びタ

グラグビー九州大会出場報告。22日、2学期終業式、及び定例課長会議。28日、仕事納め式。1月2日、第47回相良慶隆杯新春マラソン大会。5日、新年互礼会。7日、竹田市二十歳の集い。9日、3学期始業式。10日、サフラン始業式。11日、第12回校長・所長会議、竹田市総合教育会議、及び教育委員会第1回定例会。

資料1ページに戻っていただきまして、(3)今後の主な予定です。①「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会が、12月15日(金)14時から、竹田中学校で開催されます。委員の皆様のご出席をお願いいたします。②令和6年新年互礼会は、1月5日(金)、13時30分からグランツ竹田で行われます。後日、総務課からご案内をいたします。③令和6年竹田市二十歳の集いは、1月7日(日)、13時からグランツ竹田にて開催です。生涯学習課から後日ご案内いたします。④第1回総合教育会議は、1月11日(木)13時30分から本庁議室にて開催予定です。担当課の総務課から後日、ご案内の通知をいたします。⑤同日15時から、総合教育会議に引き続いて、令和6年の教育委員会第1回定例会を開催いたします。⑥第2回定例会は、2月5日(月)15時から、同じく本庁議室で開会の予定であります。新年は、明けて早々に予定が入っておりますが、どうぞよろしくをお願いいたします。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等ありませんか。

連絡事項についてはよろしいでしょうか。それでは、各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず、野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

はい。教育総務課から、先ほど甲高委員のご質問で直入中のPTA意見交換会詳細を申し上げました。同様に白丹小学校でも11月21日に、今年2回目の意見交換会を持つことができました。前回8月に書面で受けていた質問、特に通学方法に関する不安が多く聞かれましたので、具体的なスクールバス送迎の素案を説明いたしました。また、直入中学校の例のとおり、この場において、令和6年度での統合は厳しい状況にあることをお伝えいたしました。

残る城原小学校については、12月1日のPTAでの集まりの際に、直入中・白丹小と同様に、令和6年度統合は困難であることの説明の機会をいただこうと調整したところですが、PTA役員の皆様の判断で、文書による説明に代えてほしいとのことでありました。したがって、在学生保護者及び未就学児の保護者の皆様へも、その旨の通知を差し上げたところです。

ただいま説明した3校、直入中・白丹小・城原小の統合にかかる進捗状況について、今月の議会定例会で、佐藤市蔵議員から一般質問の通告がなされております。今申し上げたような内容で、佐藤議員への答弁をする予定としております。

このほか、一般質問では、後藤建一議員から、小中学校における防犯カメラの設置状況と今後の計画についての通告がされております。現状の説明と、今後は学校現場と協議・調整をしながら、予算の範囲で整備していく旨答弁する予定です。なお、現在、各学校においては、不審者対応等の防犯訓練のほか、火災や地震に備えた防災・避難訓練などを計画的に実施しております。今後も、こうした実効性のある、安全教育・防災対策を進めて、子ども達自身が、有事に際して適切な行動がとれるよう、防災意識の向上を図っていきたく、こうしたことも付け加えての答弁をしたいと考えております。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡辺学校教育課長。

渡辺学校教育課長

学校教育課からは2点です。1点目は、特別支援教育についてです。11月27日に「竹田市教育支援委員会」が開催されました。障がいのある幼児・児童生徒について、その障がいの状態、教育的ニーズ、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等、専門的見地からの意見を出し合い、必要な支援について合意形成を図っていく会です。竹田市では、平成20年度に立ち上げた「竹田市特別支援ネットワーク会議」において、乳児期から幼児期にかけて専門的な教育相談・支援が受けられる体制を、医療・保健・福祉等との連携の下に確立しております。早期からの教育相談・支援や就学先決定時のみならず、その後の一貫した支援についても助言を行うという観点から、「教育支援委員会」では、「一貫した教育支援」の重視はもちろん、「学びの場の連続性」や「学びの場の柔軟な見直し」をめざし、相談・支援の充実を図っております。

2点目は、12月15日に開催される『教育県大分』創造にむけた地域別意見交換会 in 竹田』についてです。実施要項と本日時点の出席者及び配席図をお配りしております。竹田教育事務所の次長さんが「県の教育委員さんたちは市の教育委員さんたちとお話しするのを楽しみにしていらっしゃる」とおっしゃっていました。学力向上や人材育成がテーマとなっております。日ごろから、皆様が感じておられることや考えていらっしゃることをお話いただければと思います。今週8日に打合せの会がありますので、その折にまた、オーダーがありましたら、お伝えいたします。夜まで長い時間となりますが、よろしくお願いいたします。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

タブレットの生涯学習課資料をご覧ください。課長会議の資料を添付して、ちょっと内容変えてつけておりますので、文言が適切でない部分ありますが、ご了承ください。生涯学習課から2点です。令和6年竹田市二十歳の集いについてです。日時が令和6年1月7日曜日、受付は12時から。第一部の式典が13時から、第二部のアトラクションは14時から、そのあと写真撮影ということになります。会場は竹田市総合文化ホールグランツたけた廉太郎ホールです。対象者は平成15年4月2日から平成16年4月1日に生まれた人で、市内在住または市内中学校卒業し、学業や就職等で市外に在住されている人。対象者数は170名となっています。教育委員の皆さんは主催者として、ご案内しますので出席の方よろしくお願いいたします。二十歳の集い対象者を、竹田市に本拠地のあるドラムT A O公演に招待していただきました。二十歳の集い前日の令和6年1月6日土曜日、午後3時開演です。申し込みについては、11月22日に発送した二十歳の集い案内状に鑑賞希望の申し込み書を同封しています。2点目が、第35回岡の里名水マラソン大会の出場者募集についてです。竹田市を代表するスポーツイベント、第35回岡の里名水マラソン大会を令和6年3月3日曜日に開催します。大会を盛り上げるため、多くの方の出場をお待ちしています。ぜひ、ご家族やお知り合いにお声がけください。申し込み締め切りは令和6年1月4日となっています。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長	昨年度から大分県と連携をして行っております子ども学芸員事業、お手元のペーパーでお知らせを配付させていただいております。昨年度は先哲資料館と連携をいたしまして南部小学校で行いましたが、今年度は菅生小学校の5・6年生6名を対象に、セツ森古墳文化をテーマにしまして、埋蔵文化財センター、それから市の学芸員によって、月1回の事業を行って参りました。チラシにございますけども10月31日から12月11日まで、その展示が埋蔵文化財センターの方で行われております。そして、12月16日土曜日には研究成果の発表ということで菅生小学校の児童が、平和市民公園能楽堂で成果発表するようになっておりますので、教育長と私はそこには参加しようというふうに思っております。ご報告でございます。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	歴史文化館です。展示について連絡させていただきます。会期も残り少なくなりましたが、12月17日(日)まで秋季特別展「羽儀(うぎ)を整ふー南画に描かれた鳥たちー」展を開催しています。田能村竹田が鶴を描いた重要文化財「歳寒三友双鶴図」を里帰り展示するとともに、竹田以降の南画家が様々な鳥たちを描いた多彩な作品を紹介し、画家の鳥たちに寄せるまなざしや創意工夫に満ちた表現をご覧ください。 また、12月23日(土)から、県指定有形文化財で全16巻、全長272mにおよぶ「三宅山御鹿狩絵巻」を、展示替えを繰り返しながら紹介いたします。江戸時代の竹田に思いを馳せつつ、描かれている人物の動きを想像しながら、じっくりとご覧いただきたいと思っています。よろしく願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	学校給食調理場からは、1点ご連絡いたします。12月に入りまして、インフルエンザ等がちょっと流行っておりまして、小学校の調理場見学の日程が変更になっております。南部小学校の1年生ですが、12月1日の予定が12月13日に変更になりました。それと竹田小学校の2年生が12月8日だったんですが、来年1月18日に日程変更になっております。以上、ご連絡いたします。
志賀教育長	図書館について、野仲教育総務課長。
野仲教育総務課長	図書館からは特にお知らせはございません。
志賀教育長	ご意見、ご質問等ありませんか。 佐藤委員。
佐藤委員	12月15日の地域別意見交換会は、午後2時に竹田中学校に各自で直接行けばいいですか。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	個人で直接でよろしいです。よろしく願いします。

志賀教育長

お願いします。他にないでしょうか。
では最後に、教育委員からご意見、感想があれば、いただきたいと思います。佐藤委員からお願いします。

佐藤委員

前回の定例会で、学校訪問についての感想を他の教育委員さん、述べられてたと思うんですが、11月13日、最後の学校訪問を終えて、私も少し感想を述べたいと思います。子どもたちの人数にかかわらず、決して余裕のある先生方の配置ではない中、担任力を上げるっていうために、校内校外で研修を行い、先生方が指導力を学んでいってしゃるっていうことを、お話をどの学校でも聞いたので、子どもたちにうまく生かせるといいなっていうふうに思いました。今年で6度目の学校訪問だったんですが、支援のいる生徒、不登校の生徒というのに大変学校が苦勞されているなっていうのを、今年はずっとより、強く感じたように思います。毎月の校長会議であったり、そういう対策を話し合われてると思いますが、担任の先生の困りであったり、要望であったりをやっぱり聞いて、少しでも支援のいる子どもたち、不登校の子どもたちが、学校生活が楽しめるように、そして担任の先生がより授業に集中ができるようにすることで学力も、少しずつ上向きになっていくのかなっていうのをすごく感じました。そういうことを感じる学校訪問だったと思います。そして最後に、あの栄養価の高い給食を、やはり、残さずに子どもたちに食べてもらいたいなっていうのを、今年はずっと強く感じました。以上です。

志賀教育長

吉野委員お願いします。

吉野委員

私は昨日12月4日月曜日に、社会福祉協議会の企画財政部会議っていうのに参加してきました。主な議題は、久住保育所の指定管理についてだったんですけど、久住地域の保育施設のこと、日々感じることがありまして、白丹保育所も、令和6年3月末で運営終了することもあって、白丹の子どもたちが久住保育所に実際通うことになることが多いかと思うんですけども、そこに至るまでも保護者の方々が協議を重ねられて、その新しいステップに入ったのかなというところで、お骨折りくださった方に感謝したいなというふうに思いました。それと久住保育所が今後どうなっていくかっていうことなんですけど、職員の方ですね、保育士さん方は、やっぱりゆくゆくのことは不安かもしれないんですけど、毎日その目の前の子どもたちを安心安全に、健やかに育てるようになっていて一生懸命お仕事されてる、保育に邁進されてると思うんですけど、その中でも教育委員会でも力を入れてる架け橋プログラムの方にも参加してくれたり、ちょうど未就学児の保育教育っていうところと、小学校との連携がうまくいってるところなので、もう、より一層深まって欲しいなと思っているので、久住保育所の今後についても早く、どういう形態で運営がされていくかということが、誰もしないわけにはいかないと思うし、社会福祉協議会の方も久住の保育が続けられるようにというふうに考えてくださっているようだったので、あとは細かい条件なのかなというふうに私も受け取ってるんですけど、とにかく保護者や子どもが安心して通える場所があることが大事なので、早く決まってくれたらいいなというふうに思っています。そして、そこに関して、やっぱり、当施設がどうか経営がどうかいうのも大事なんですけども、その中で保育に携わる方のスキルとか資質っていうのが大事になっ

てくると思うので、管轄が違う場合もあるかもしれませんが、教育委員会の方でもやっぱり、せっかく架け橋プログラムだったり、スタートアップカリキュラムだったり、やっぱり専門的な知識や経験や人材もあるかと思うので、助言なり、協議なりお知恵というか、関わってもらえたらなというふうには個人的には感じたところです。遊びと学びってやっぱり表裏一体というか根源は一緒だと思うし、さっき学校教育課長さんがおっしゃったように早期からの教育支援というのはどの子にとっても、ありがたいことだと思うので、ぜひ今後ますます横の繋がりを深めていただけたらなというふうには感じたところです。

それと関係あるんですけど、園児募集のことで、広報たけた11月号・12月号を見ましたけども、「スマイル」の方が請負ってる私立の保育所や幼稚園や認定こども園の募集と、教育委員会の方でしている市立・公立の幼稚園の募集が、できれば同じページに同じように、同じ月繰り返し11月・12月・1月ぐらいまで合わせて載ってくれれば、わかりやすいのかなというふうには感じています。ホームページを見ると、行き着く情報ではあるんですけど、一見してわかる情報が、その該当期間ずっと目につくところにあるといいかなというふうには感じました。よろしくをお願いします。

志賀教育長

では岡委員をお願いします。

岡委員

はい。今回インクルーシブの話題が出て私もいろいろと調べるといいますか、本読んだりしてみました。自治体によってはフルインクルーシブ教育を実践されてるところもあったりとか、いわゆる分ける分けないといったスタンスの違いも指摘されてると思うんですけど、ただどちらがいいか悪いかということとは別に、やはり竹田市全体として、インクルーシブな社会、まちづくりをどうしていくかっていうような辺りを、計画性を持って取り組むのが大切かなと思ってるので、可能であれば、次回ありますけど、総合教育会議とかそういった場でも少しお話がみんなとできたりするといいのかなというふうな気がしています。あと、これは県の管轄なので難しいとは思いますが、特別支援学校への訪問といいますか、そこの先生方との意見交換とかいうのももし機会があれば、セッティングしていただけたらいいかなというふうな思いがしました。以上です。

志賀教育長

甲高委員をお願いします。

甲高委員

はい。私からは数点。すいません、ちょっと長くなるかもしれませんが、いろいろな行事に参加した感想などをお話しさせていただきたいと思います。お礼も含めてお話をさせていただきたいと思います。まず竹楽についてなんですが、ちょっと芸術文化短期大学の学生に少し時間ができまして、1グループだったんですが、歴史文化館に入らせていただきまして、職員の方に案内を少ししていただいて、見学をさせていただきました。非常にそのグループ喜んでおられて、ぜひSNSで上げて欲しいというふうなお願いもしまして、実際に上げてくれた子もいるみたいなんですが、感想でも、各大学の感想などでもそういうのが上がっておりました。その時にいろいろ感じたんですが、来年度からさらに文理大学がボランティアにと、先生ともお話をさせていただいたんですが、ぜひ来年も声をかけていただけたらいいかなというふうなことで、もし、学生に時間が空けば、

歴史文化館の方に、それぞれの学生、両大学で60名ぐらい来るんですが、入っていただいてSNSで発信をしていただく、宣伝をしていただくようなことも考えてみたいなど今、思っているところです。

高年齢化というのがまず一番にありまして、今小学校の方は、地域の方との交流ということで参加をしていただいているんですが、昔ちょっとあったんですけど、中学校の方でももし授業の一環で交流事業という形で、近くのお手伝いをする、地域の方がどういう活動されているのかというようなことも分かっていたんじゃないかなあというふうに感じましたので、もしお願いできれば授業の一環としてでもいいんですが、活動に参加していただくと、非常に本当市民一体でやってるなという、行事に参加して地域のこともご理解いただけるんじゃないかなあというふうに思いました。あと、少年少女ロードレース大会と、竹田市駅伝競走大会に教育委員の代表として、今回参加をさせていただきました。少年少女に関しては、50回という本当に歴史のある大会で、今回最後ということで終了となってしまいましたが、今後も各学校やっぱり走るということというのは、すべての競技に関して基礎となるものと言われてます。走る、ただ走るだけじゃ、もしかしたらきついか思ってしまうかもしれませんが、今後もぜひ走る楽しさも含めながら、スポーツ力向上とかそういうのもありますので、ぜひ指導を継続してほしい。竹田市陸上競技協会が、少年少女のための何か大会も企画をするみたいですので、そういうのも話が上がりますのでぜひ、各学校、先生方に協力していただいて、子どもの体力が落ちないように、協力願えればというふうに思ってます。

あと、解放文化祭に参加をさせていただきました。緑ヶ丘中は残念ながら参加できなかったんですが、竹田小学校のステージを拝見させていただきましたが、本当にすごくよく声が出ていて、元気ないい発表だったなというふうに感想を持たせていただきました。本当にお疲れ様でした。

最後になりますが、少年少女ロードレース大会を含めて生涯学習課や教育委員会の職員の皆さん方、関係者のスタッフの方におつかれ様とお伝えして、私からのお話を終わりたいと思います。すいません。もう一つだけ。竹楽の時にちょっと体育館にいたんですが、サフランの子たちが外で活動しておりまして、この前はちょっと見れなかったんですけど、子どもたちが何か大きな声で先生と話しながら楽しそうにしてる姿を拝見させていただきました。見ることができて本当によかったなと思います。声は掛けなかったんですが、すごく楽しそうに活動してるのが印象的でした。終わります。

志賀教育長

はい。ありがとうございました。たくさんありましたが、何か各課から説明できるところありますか。佐藤委員からありました支援を要する子ども、先生が授業に集中できるような環境ということですけども、学校教育課、何かそういった手だてとか策があれば紹介をしてください。

渡邊学校教育課長

学校としては、校内研修の中で、特別支援教育の視点での研修会をしたりだとか、あとUDの視点、どの子にとっても、学びやすい教室の環境づくりだとか、資料の提示の仕方だとか、そういったことは学校で研修はしております。あと、人的な部分、人的配置の部分に関しても、予算があるのでなかなか要望通りにはいきませんが、今年度も2校に臨時的な教員と、あと支援員の方を配置させていただきました。今まさに、私の方が来年度に向けて、支援学級の新設の要望だとか、加配の要望だとかが今大詰めなんですけど、少しでも資料を集

めて、各学校の状況を聞いて、佐藤委員さんのおっしゃったように、先生方が本当に、本来するべき、あるべき業務の姿というか、先生方がしたい教育ができるように、環境の方を少しでも整えられるよう努力して参ります。

志賀教育長

特に人が多ければいいとは思うところがあります。支援する職員が1人でも2人でも、学校によってはもうもっとたくさん欲しいところですけども、できる限りの努力をしています。それから先ほど学校教育課長が説明した支援教育委員会ですけども、県内の知的障害、情緒障害の支援学級の数というのはもうほぼ上限に達していて、新設は非常に厳しい状況ですが、県に働きかけていきたいというふうに思っています。その他、吉野委員から久住保育所の今後はどうなるのかとうご心配がありました。教育委員会とは、管轄が違いますが、架け橋プログラムを推進しているという立場で今、学校教育課から何か言えることありますか。

渡邊学校教育課長

先ほど吉野委員さんもおっしゃっていただきました南部幼稚園の公開保育の時に、今年でなくなる白丹保育所の方からも来てくださっていました。皆さん、幼稚園の先生方、竹田市立の幼稚園の先生方は、小学校と繋がってということが、これまでも日常的にあったのですが、私立の保育園だとか幼稚園だとか、先ほど言った白丹保育所とか久住保育所とかの、保育士さんたちが一緒に来てくださって、幼稚園でやってること、それから同じ保育所、保育園でも他の園の取り組みを交流することで、すごく刺激にはなっているという話を直接伺いました。先生方にしたらまた会議だとか思われるのかもしれないんですけど、今やってる取り組みのいいところを少しでも、他の地域にも、他の校区にも広げたいので、学校教育課の方でも、計画的に日にちを決めて、今、来年度に向けて、研修と、あとプログラムづくりをしていただいているところです。

野仲教育総務課長

吉野委員からご指摘のあった園児募集の件、広報たけたも1月号が、おそらく年内発行ですので、ちょっと間に合うか分かりませんが、今後に向けてはそういった分かりやすい紙面になるようですね、関係課には伝えたいと思います。

志賀教育長

それから岡委員から出されました支援学校との意見交換会については、支援学校とも連絡を取ってちょっと検討していきたいと思っています。

その他ないでしょうか。

甲高委員が言われました少年少女ロードレースが50回をもって終了しました。心配されるのは、今後の子どもの体力維持・向上です。それに代わる、子どもの体力向上、意欲高揚、走るスキルの向上をねらった、一流アスリートを招聘しての陸上教室も一昨年から始まっていますし、その他の陸協が主催する大会や生涯学習課が主催する大会にふるって参加するように、各学校には呼びかけたと思います。

その他ないでしょうか。

ではないようですので、これで定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後4時02分]